

瀬山 智博

Seyama Tomohiro



3歳よりメキシコシティで音楽教育を受け始め、大阪音楽大学ピアノ科およびウィーン国立音楽大学指揮科を卒業。同大学在籍中にはウィーン楽友協会合唱団団員として研鑽を積み、同合唱団のコレペティートルとしても活動した。その後ウィーンにおいてはウィーン少年合唱団の指揮者やウィーン国立歌劇場合唱団指揮者兼コレペティートルを務めるなど、多岐に渡り国際的な活動を続けている。

2008年にアーヘン市立歌劇場コレペティートルとして活動を始め、2009年にシェーンブルン宮殿歌劇場で「ドン・ジョヴァンニ」を指揮。オーストリアのブレゲンツ音楽祭、グラフェネック音楽祭やイタリアのトリノ王立歌劇場においてアシスタントを務め、2016年にはドイツのマグデブルグ歌劇場のカペルマイスターとして活動。同劇場においては「カルメン」「パリの生活」「ウィンザーの陽気な女房たち」「密猟者」など多数の公演を指揮した。その他ドイツではデッサウ・アンハルト州立歌劇場、スイスではヴィンタートゥール歌劇場において指揮者を務めた。

これまでにBBC交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、ソフィア祝祭管弦楽団、ドイツ・マグデブルグ・フィルハーモニー管弦楽団、デッサウ・アンハルト州立管弦楽団、ムジークコレギウム・ヴィンタートゥールを指揮。国内では東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、京都市交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、オペラハウス管弦楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、兵庫県立芸術文化センターオーケストラ、広島交響楽団、九州交響楽団などを指揮。

指揮を故湯浅勇治、レオポルト・ハーガー、ウロシュ・ライオヴィチ、ファビオ・ルイジ、小澤征爾各氏に師事。シエナ・キジアーナ音楽院においてオーケストラ指揮ディプロマ所得。シカゴ・ショルティコンクールセミファイナリスト、ブザンソン国際指揮者コンクールファイナリスト。

大阪音楽大学声楽科非常勤講師、名古屋音楽大学声楽科客員講師。2021年よりノマドオペラ音楽監督を務めている。